

# 第5学年2組 学級活動（2）学習指導案

11月20日（火）第5校時

指導者 山下 智裕

展開場所 5年2組教室

## 1 題材 見直そう！私たちの給食

### 2 題材について

#### （1）題材設定の理由

児童が一日に取る食事3回のうち1回は学校給食であり、給食の時間は児童にとって学校生活における楽しみのひとつである。また、学校給食は栄養士が栄養価やカロリーを考えて作るバランスのとれた献立の見本といえる。

社会科において児童は、食料生産に携わっている人々を知ること、苦労や努力、工夫していることを知り、私たちの食べ物がどのように作られ食卓に届くかを学習した。しかし、実際の給食では、食べたことのない食材や嫌いな食材が入った献立については、食前に減らしたり、残したりする傾向にある。

そこで、適切なバランスのとれた食事を取ることは、自分自身の健康を保持する上で大切なことだと認識させたいと考え、学習指導要領の例示「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」に基づいて本題材を設定した。

本時では、毎日の給食の献立を考えている栄養士にインタビューしたビデオを見せることで、給食や健康に対する思いや願い、学校給食の大切さに気付かせたい。そうすることで、自分の健康の保持増進と学校給食に関心を持つとともに、適切な摂取量と栄養バランスのとれた食事をとることの大切さ、さらに学校給食に携わる人々への感謝の気持ちを抱きながら食べようとする態度を身に付けさせたい。

#### （2）児童の実態 実態調査（児童数 男子17名 女子16名 計33名） 10月15日実施

栄養士から5年2組の残飯率が高いことを知らされる。栄養士による学級ごとの毎日の残飯率を集計したプリントからも、5年2組の残飯の量が全校の平均と比べ多いことがわかる。5年2組の給食を見ても、残飯が無いという状態がなく、特にごはんとパン、魚と野菜が多いように感じられた。5年2組では給食の始めに自分の食べられる量に減らす児童が多い。おかわりをする児童がいないわけではないが、減らす児童が多いためか残飯が多く残ってしまう。

アンケートの結果を見ると、給食は好きであり、給食の時間も楽しいと感じている。子どもたちは食事をする理由についても理解しており、栄養についても考えたことがある児童は多い。

しかしながら、多くの児童が給食を減らしている。減らすものは多岐にわたるが、魚、パン、ごはんが多く、減らす理由は嫌いだからである。減らしているにも関わらず、多くの児童は栄養が足りていると考えている。また、給食を残すことに何の問題も感じない児童もいることがわかった。

アンケート結果

質問	回答 ※数字は人数を表しています。		
1. 給食は好きか。	好き 32人 (97%)		好きではない 1人 (3%)
好き・好きではない理由。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食がおいしいから。18人</li> <li>・おいしいものがたくさんあるから。4人</li> <li>・みんなと話ができるから。2人</li> <li>・嫌いな物がでるから 2人</li> <li>・肉がおいしいから。</li> <li>・手作りだから。</li> <li>・心を込めて作ってくれた物だから。</li> <li>・お腹が減っているから。</li> <li>・勉強の時間ではないから。</li> <li>・栄養があるから。</li> <li>・楽しいから。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹がすかないから。</li> </ul>
2. 給食の時間は楽しいか。	楽しい 32人 (97%)		あまり楽しくない 1人 (3%)
3. おかわりをするか。	する 14人 (42%)		しない 19人 (58%)
おかわりをしない理由。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹一杯になってしまう。11人</li> <li>・食べ終わるのが遅いから。2人</li> <li>・お腹がすかないから。2人</li> <li>・牛乳が残っているから。</li> <li>・昼休みにお腹が痛くなるから。</li> </ul>
4. 減らすことがあるか。	減らす 3人 (9%)	ときどき減らす 22人 (67%)	減らさない 8人 (24%)
減らすもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">・さかな 9人</li> <li style="width: 33%;">・チーズ 3人</li> <li style="width: 33%;">・多かったとき</li> <li style="width: 33%;">・パン 3人</li> <li style="width: 33%;">・いか 2人</li> <li style="width: 33%;">・にがい物</li> <li style="width: 33%;">・ごはん 3人</li> <li style="width: 33%;">・たまご 2人</li> <li style="width: 33%;">・嫌いな物 2人</li> <li style="width: 33%;">・やさい 4人</li> <li style="width: 33%;">・なめこじる</li> <li style="width: 33%;">・おかず 2人</li> <li style="width: 33%;">・なっとう</li> <li style="width: 33%;">・にく</li> <li style="width: 33%;">・ひじき</li> </ul>		
減らす理由。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌いなものだから。12人</li> <li>・ほねがあるから。3人</li> <li>・多く盛られていたから。2人</li> <li>・食欲がでないから。2人</li> <li>・苦いから。2人</li> <li>・なめこのぬるぬるが嫌いだから。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イカが嫌いだから。</li> <li>・パンが必ず残ってしまうから。</li> <li>・さんまが苦いから。</li> <li>・やさいが嫌いだから。</li> <li>・口に合わないから。</li> </ul>

5. 食事をする理由。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー・栄養をたくわえるため。13人</li> <li>・健康のため。生きるため。7人</li> <li>・体力をふやすため。成長するため。6人</li> <li>・お腹がすくため。4人</li> <li>・勉強をするため。</li> <li>・味を楽しむため。</li> </ul>	
6. 栄養について考えたことがあるか。	ある 25人 (76%)	ない 8人 (24%)
7. 栄養が足りていると思うか。	足りている 26人 (79%)	足りていない 7人 (21%)
8. 食缶を返すときの気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にない。11人</li> <li>・今日もおいしかった。9人</li> <li>・ごちそうさま。5人</li> <li>・作ってくれて、ありがとうございます。4人</li> <li>・ごはんやおかずが残っているとき、申し訳ないと思う。2人</li> <li>・箸の返し方がバラバラだから、なおしたほうがよい。</li> <li>・自分が減らしたとき、嫌な気持ちになる。</li> </ul>	
9. 給食室の先生へ一言。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも給食を作ってくれてありがとうございます。23人</li> <li>・これからもおいしい給食をおねがいます。12人</li> <li>・嫌いなものも少しは食べるようにしたいです。2人</li> <li>・グレープフルーツとオレンジを減らしてほしいです。</li> <li>・イカは出さないでください。</li> <li>・からあげとかチキンとかをたくさん出してください。</li> </ul>	

### 3 研究主題とのかかわり

#### 研究主題

「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」  
～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する  
指導の在り方及び学級集団をめぐる今日的な課題への対応～

#### 研究目標

学級活動等の集団活動における児童生徒の自主的・実践的態度を育成する指導の在り方を明らかにするとともに、特別支援を要する児童生徒の対応の仕方等、今日的な学級経営を巡る問題を模索する。

#### 研究仮説

- (1) 学級活動等の集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的に掴ませ、活動に取り組みせれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。
- (2) 学級経営を推進する上で生じる諸問題について、その原因を把握し、効果的な方法によって、適切に対応すれば、児童生徒の理解が得られ、円滑な学級経営が営まれ、集団活動が一層活発になるであろう。

本授業では、仮説（1）についての検証を試みることにする。

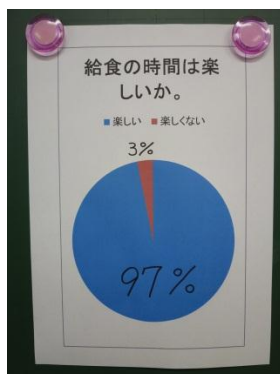
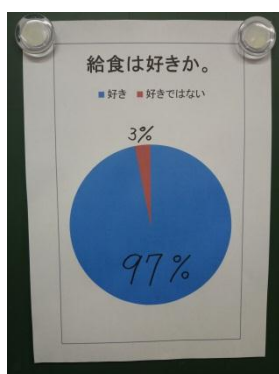
#### 仮説（1）について

学級活動等の集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識（1）や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的に掴ませ（2）、活動に取り組みせれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。

#### （1）課題意識を明確にするための手立て

給食に対する課題意識を高めるために、アンケート結果を掲示したり、残菜の多い食缶の写真や全校に対する学級の残飯率を表したグラフを掲示したりする。そうすることで、児童一人一人が給食に対する課題意識をもち、学級活動の必要性を感じ、自主的・実践的態度の育成へとつながると考えた。

#### ○アンケート結果



○残飯の多い食缶の写真

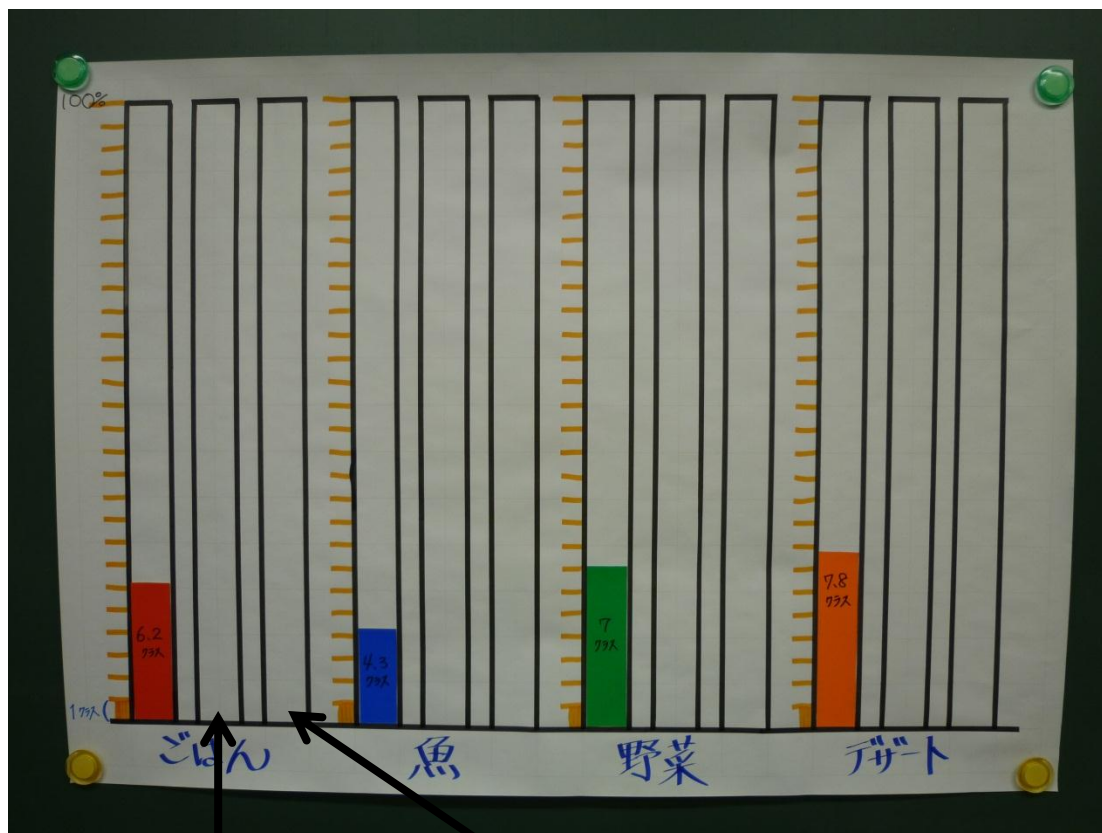
一般的なクラスの残飯量



5年2組の残飯量



○全校に対する学級の残飯率を表したグラフ



一か月後のグラフ

二か月後のグラフ

(2) 活動の過程を掴ませるための手立て

本時で立てた自分に合った目標を実現させるために、毎週金曜日に一週間の給食では自分の目標が達成できたかを振り返らせたり、一か月後の全校に対する学級の残飯率を表したグラフを掲示したりする。そうすることで、自分の目標を達成することは学級のめあてに大きく関わっているという意識を高め、活動での達成感が高められると考えた。

○自分の目標の振り返りカード

4. 毎週・毎月ふりかえろう。

自分の目標	
-------	--

ふりかえり予定表

11月20日～11月21日	
11月20日～11月30日	
12月3日～12月7日	
12月10日～12月14日	
12月17日～12月20日	
12月20日	「一か月後の学級の残飯量のグラフをみる」
学級のめあてのふりかえり	
1月7日～1月11日	
1月18日～1月19日	
1月21日～1月25日	
1月28日～2月1日	
2月1日	「二か月後の学級の残飯量のグラフをみる」
学級のめあてのふりかえり	
感想	

毎週の振り返り

一か月後の振り返り

二か月後の振り返り

#### 4 活動内容と評価の視点

##### (1) 第5学年及び第6学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

##### (2) 活動内容・評価の視点

	活動内容	評価の視点
事前	1 日常の学校給食について振り返る。	○自分の食習慣を振り返ることができる。 (アンケート)
本時	2 アンケート結果や食缶の写真を見る。	○学級全体の問題に気付くことができる。 ・残菜の量が学校の中でも多いほうであること。 ・残菜が多いことを問題として捉えていないこと。 (ワークシート・児童の発言)
	3 栄養士からのメッセージを聞く。	○給食を残さず食べることの大切さを知ることができる。 ・給食の量 ・栄養のバランス ・感謝 (ワークシート・児童の発言)
	5 学級のめあてを決める。	○学級全体が成就感をもてるめあてにすることができる。
	6 自分に合った目標を決める。	○自分の実態に合った目標を考え、決めることができる。 (ワークシート)
事後	7 毎週末振り返りをする。	○自分が決めた目標を意識して給食を食べることができる。 (ワークシート)
	8 一か月後に残菜がどのようになったかを振り返る。	○一人一人が目標に向かって努力したことが学級のめあての達成につながる事が理解できる。 (ワークシート・グラフ)

5 本時のねらい

○給食を残さず食べることの大切さを知り、自分の食習慣を見直し、自分の実態に合った目標を立てることができる。

6 展開

段階	学習活動	・指導上の留意点 ○評価の視点	資料等
導入 1 0 分	<p>1 アンケートの結果を見る。</p> <p>2 食缶の写真や残菜量のグラフを見て、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残飯がこんなに多いとは思わなかった。</li> <li>・僕は残していないけれど、クラスはこんなに残っている。</li> <li>・もったいない。</li> <li>・もっと食べればいいのに。</li> </ul> <p>3 残菜が多い理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌いだから。</li> <li>・お腹が一杯になってしまうから。</li> <li>・みんなが減らすから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果から、クラス全体が給食に対して肯定的に捉えていることに気付かせる。</li> <li>・平均的なクラスの食缶を見せ、本学級の食缶を見せる。</li> <li>・本学級の残菜が全校に占める割合がわかるグラフを提示することで、いかに残菜が多いかを捉えさせる。 (ごはん・魚・野菜など)</li> <li>○資料を見て、学級全体の問題点に気付く。 (関心・意欲)</li> <li>・自分たちの給食の課題について考えさせる。</li> <li>・どんな場合にどんな理由で残しているか想起させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果表</li> <li>・食缶の様子の子の写真</li> <li>・学校全体の残飯率のグラフ</li> </ul>
展開 2 0 分	<p>4 栄養士からのメッセージビデオを見て、気付いたことを発表する。</p> <p>5 学級のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>残菜を減らそう！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立を考えるときに気を付けること、適切な栄養バランスの給食の量、給食や健康に対する思いや願いに気付かせる。</li> <li>○食事をとることの大切さを知ることができる。(知識・理解)</li> <li>・学級全体として取り組むべきことについて意見を出し合うようにする。</li> <li>・継続的かつ実現可能な学級のめあてとなるよう助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士からのメッセージビデオ</li> </ul>



終 末	6 自分の実態に合った目標を決めて、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で決めためあてを達成するために、自分ができることを目標として決めさせる。</li> <li>・十分な量を食べている児童には、よく噛んで食べるほうがよいことやおかわりをすることを助言する。</li> </ul>	
1 5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは残さないようにする。</li> <li>・みんなが減らしていたから、減らしていたけど、減らすのはやめる。</li> <li>・嫌いなものは減らしていたけど、ちょっとでも食べてみよう。</li> <li>・おかわりをしていなかったけれど、少しでもしてみよう。</li> <li>・おかわりしてみよう。</li> <li>・よく噛んで食べよう。</li> <li>・ごはんをたくさん食べよう。</li> <li>・魚を半分食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分に合った目標を考え、決めることができる。(思考・判断)</li> </ul>	
	7 明日の具体的な目標を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明日の給食の目標について実践する意欲を高めさせる。</li> </ul>	・明日の献立
	8 今後の活動について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続への意欲を高めるために、週単位や月単位で振り返りをするを知らせる。</li> <li>① ワークシートを使って、毎週末に振り返る。</li> <li>② 一か月後に、残菜量のグラフを本時のものと比較する。</li> </ul>	

## 7 板書計画

<p>見直そう！私たちの給食</p> <p>5年2組の給食について考えよう。</p> <p>平均的なクラスの食缶</p> <p>5年2組の食缶</p> <p>残菜が多い理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌いだから</li> <li>・お腹がいっぱいになるから</li> <li>・みんながへらすから</li> </ul>	<p>学級のめあて</p> <p>「残菜をへらそう！」</p> <p>自分の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おかわりをしてみよう。</li> <li>・魚を半分は食べる。</li> <li>・よく噛んで食べよう。</li> </ul> <p>明日のこんだて</p> <p>食パン、いんげんまめのミネストローネ ひじきのマリネ、ジャム、りんご</p>
--	---



平成24年度

市教研 特別活動部会 授業研

# 学級活動指導案

## 「見直そう！私たちの給食」



学級活動（5年2組教室）	14:00～14:45
研究協議会（図書室）	15:00～16:30

千葉市立桜木小学校

5年2組 担任 山下智裕

平成24年11月20日

# 見直そう！私たちの給食

5年2組の給食について考えよう。

名前

1 これまでの給食をふり返ろう。

写真やグラフ を見て気づいた こと。	
--------------------------	--



2 自分たちができることを考えよう。

学級のめあて	
自分の目標	これまでは、
	これからは、

3 自分のできることをやってみよう。

明日の目標	
ふりかえり (11/21)	



4 毎週・毎月ふりかえろう。

自分の目標	
-------	--

ふりかえり予定表

11月20日～11月22日	
11月26日～11月30日	
12月3日～12月7日	
12月10日～12月14日	
12月17日～12月20日	
12月20日 学級のめあてのふりかえり	「一か月後の学級の残菜量のグラフをみて」
1月7日～1月11日	
1月15日～1月18日	
1月21日～1月25日	
1月28日～2月1日	
2月1日 学級のめあてのふりかえり	「二か月後の学級の残菜量のグラフをみて」
感想	

